

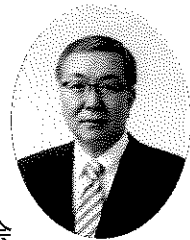
まがな



秋田市手をつなぐ育成会
会報 第35号
令和元年 9月30日

〒010-0922
秋田市旭北栄町1-5 秋田県社会福祉会館
秋田県手をつなぐ育成会 内
018-864-2718

兄弟として体験した「親亡き後」



会長 田中 勉

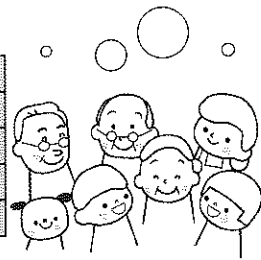
皆さんの中には、行政は、高齢者福祉や子育て支援は一生懸命だが、障がい者福祉に対して何もしてくれないと考えている方が大勢いらつしやるのではないかと思います。私は、行政の事情も幾分知りうる立場におりましたが、それはいたって当然のことなのです。こんなことを言うと言った皆さんは不思議だと思われるかもしれませんが、何を言っているんだと反発を受けるかもしれませんが、しかし、その理由は簡単です。それは、行政の職員が障がいというものを知らないからです。私たちは、家族に障がい者がいるからこそ、一日たりとも障がいという言葉が頭から離れることはありませんし、障がいについて毎日悩み、将来の大きな不安を抱えて日々暮らしております。しかし、世の中の大多数の人は、身内に障がい者がいるわけでもなけ

れば、障がいについて何のかかわりもなく一生を過ごしているのです。行政に関わらず世の中のほとんどの人が障がいや障がい者を知りうるのではないままに一生を過ごしているのが現実であり、行政が障がい者福祉に対して何もできないのも当たり前前の現実だと考えなければならぬと思います。つまり、私たち障がい者の家族の思いと一般の市民の思いは、全く違っており、言い方は適切ではないかもしれませんが、所詮他人事だと言う事を認識しなければならぬと思います。行政の職員を擁護するつもりはありませんが、障がい者の事を知らない故にどんな障がい者福祉の施策を推進し、どの様に障がい者に手を差し伸べたらよいかかわからないというのが実態だと私は考えています。議員にしても同じことが言えます。自分が知っている事は、一生懸命質問しますが、知らないことには絶対に手を触れません。ですから、結果として、障がい者福祉の施策は、私たちが思うような進展が見られないという事だと思えます。しかし、一方で高齢者福祉や子育て支援の施策が、進展するのは、何故でしょうか。それは、高齢者や子供は、必ず家族や身内にいるからです。

そして、介護や子育ての大変さを多くの人が知っているからです。知っているからこそ高齢者福祉や子育て支援には、色々な施策が打てるのです。このような現実を見ると私たちが思い描く共生社会は、いつまでたつても実現は難しいのではと考えてしまいましたが、行政が動くのを待っていても、世の中は変わらないという事を認識しなければならぬと考えます。障がい者福祉の施策は、私たち障害者の家族が動かない限り、知らない誰かが勝手に動いてくれることなど絶対にあり得ないことですし、世の中は変わらないと思っております。

さて、私が体験してきた「兄弟としての親亡き後」について書きたいと思えます。極めて稀な事と思えますが、私には、兄と弟二人に知的障がいがあります。父は、私が高校に入学して間もなく交通事故で亡くなり、頼りにしていた姉も40代で亡くなり、母は、今から20年前に72歳で亡くなりました。母は、妻に、亡くなる直前にあと10年は生きたいと言っていたようですが、心筋梗塞であつという間に亡くなりました。そして、残された私と妻と兄と弟の4人での親亡き後の生活がはじまりました。その当時は、兄

令和元年度 秋田市手をつなぐ育成会 組織図

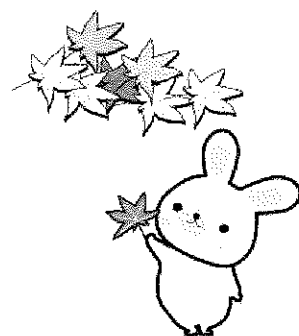


は、一般就労で、弟は、一般就労をしておりましたが、電車で若い女の子に声を掛けただけの事を善良な市民から会社に通報され、会社を辞めさせられて、就労継続支援B型事業所に通っておりまして。今思えば、行方不明になって秋田市中を探し回ったり、騙されてサウ金でお金を借りさせられて騙し取られたりと毎日のように色々な事件がありました。毎日、妻と二人で無事に家に帰るまで心配な日々が続いていた記憶があります。そんな時に同級生の弟さんが市役所の障がい福祉課におり、新設した「小又の里」という入所施設に空きがあることを教えてくれました。その後、弟と何度か見学し、施設の方とも相談し、本人が希望して入所することになりました。それから一年ほど経過して、今度は兄が、仕事に行くのと体調が悪くなるという症状が続き、妻がいろいろな病院に連れてゆき検査をしてもらいましたが、原因不明という事で今後どうしようかと悩んでおりました。そんな時に小又の里から空きが出来たので兄に入所しないかとの連絡があり、無事入所し、体調も何もなかったように改善しました。結局は、仕事でのストレスが原因で体調不良だったよう

でした。そのように兄弟二人が小又の里に入所することができ、20年近くの間、私は、無事に仕事を続けることが出来ましたし、家族の生活が成り立ってきました。世間の一般的な議論として、障がい者は、入所施設から地域移行を進めるべきという事が言われておりますが、私は、それは否定しませんし、地域で暮らせる人は地域で暮らすべきと考えます。厚生労働省でも『地域移行』とは、住まいを施設や病院から単に元の家庭に戻すことではなく、障害者個々人が市民として、自ら選んだ住まいで安心して、自分らしい暮らしを実現すること』は、健常者なら当たり前のことですが、知的障がい者にとっては非常に困難な事で、守ってくれる誰かの支援がなければ絶対に成り立たないと考

えます。そして、そんなきれいで済まないことは、私自身いやというほど体験してきました。敢えて言いますが、親は、必ず兄弟にまで面倒は掛けたくないと言いますし、私の母もそのように言っておりました。しかし、親亡き後に何か事があつた時には、必ず兄弟が対応せざるを得ないという事は間違いな現実なのです。私は、兄弟を小又の里に入所させて本当に良かったと思っておりますし、本人たちも、健やかに生活しております。しかし、入所施設の今後の新設の予定はありませんし、現在の空きもありません。そして、自治体は、3年に一度、障害福祉計画を立てますが、全ての自治体は、施設入所者数を毎年減らす計画を立てております。つまり、入所できる人は、今後、間違いなく減りはしても増えないという事です。私は兄弟として親亡き後を見てきて、入所施設は必要だと考えますし、今後のその需要は間違いなく増えると考えます。しかし、私は障がい者の地域移行を否定するものではありませんし、グループホームで暮らせる人はグループホームで暮らし、入所施設で暮らせば暮らせない人は入所施設で暮らせばよいと考えます。つまり、色々な

選択肢を残してほしいし、今より更に選択肢を増やして欲しいという事なのです。親亡き後で一番重要なのは、住む場所です。入所施設もグループホームも必要だと私たち家族が声を上げない限り、他には誰も言ってくれないという現実をきつちり認識し、その必要性を訴えて行かなければ、本来に将来、住む場所が、なくなるのではと考えています。前述しましたが、障がい者福祉の施策は、私たちが障がい者の家族が動かない限り、知らない誰かが勝手に動いてくれることなど絶対にあり得ないことですし、世の中は変わらないと思っております。



読んでみませんか

あの日から3年がたちました。2016年7月、日本中に衝撃が走った障がい者19人が殺害された相模原殺傷事件。報道は過熱し、被害者の名前が伏せられたことで、犯人の不気味な笑顔やコメントばかりが垂れ流された。「障害者なんていなくなればいい」…その思想に、賛同する人も少なくなかった。誰もが心のおりを刺激され、異様な空気に包まれるなか、平穏を取り戻させてくれたのは、ある障害児の父親が綴った息子への想いだった――。著者は17歳の自閉症の長男を持つ神戸金史。RKB毎日放送の東京報道部長であり、前職は毎日新聞の記者だった。報道する立場の人間として、障害児の父親として、今なにができるのか――。本書では、詩とともに、長男の生い立ちから障がい気づいた経緯、障害を受け入れられなかった悔悟、息子をどう育ててきたかなど、過去の記事も織り交ぜ、長男とともに歩んだ17年の軌跡を綴る。記者として、父として、息子への想いがすべて詰まった渾身の一冊!

「第61回手をつなぐ育成会秋田県大会（横手大会）」（令和元年8月4日）報告

令和元年8月4日（日）に「認め合い、支え合い、差別のない本当の共生社会をめざそう」の大会スローガンのもとに横手セントラルホテルで第61回手をつなぐ育成会秋田県大会（横手大会）が開催されました。

神谷長一横手大会実行委員長の開式の言葉の後、「手をつなぐ母の歌」の斉唱、続いて高橋精一秋田県育成会会長の挨拶がありました。表彰と諸富伸夫秋田県健康福祉部長および高橋大横手市長のお祝いの言葉の後、横手市手をつなぐ育成会の天羽京子様より大会宣言がありました。

大会宣言は、育成会活動の原点が「わが子の幸せ」にあることに立ち返り、「私たちのことを、私たち抜きに決めないで」とした障害者権利条約に触れ、知的障がいのある子どもや、高齢となった障がい者など、全ての人が当たり前に地域で暮らすことができるように、障がい者福祉を後退させることなく、着実に前進させていかなければならない。そしてまた、知的障がいのある人やその家族、関係機関などが、障がいの有無にかかわらず、

本大会のスローガンである「認め合い、支え合い、差別のない本当の共生社会」を目指し、将来にわたって権利擁護と幸せに繋げることが必要であるという内容でした。続いて「阿桜園」の利用者の右谷学様の「私たちの大会宣言」がありました。

引き続き、秋田県健康福祉部障害福祉課の奥山圭太郎主任兼班長から「秋田県障害者差別解消条例」についての行政報告がありました。アトラクションは秋田県立横手支援学校の生徒さんによる学校紹介、よさこいソーラン”でした。

午後の部はシンポジウムで、社会福祉法人雄勝なごみ会情報管理部長の天野達氏がコーディネーターとなり、「障がい者差別解消の取り組みを具体的にどう進めるか」というテーマで話し合われました。秋田市育成会からは高橋精一秋田県育成会会長が助言者として、また、

田中勉秋田市育成会会長が話題提供者として壇上に登られました。本人大会として秋田県ともだちの会との社会見学コースでは横手市増田まんが美術館の見学が行われました。

「令和元年度 秋田市手をつなぐ育成会 親なきあと講座」報告

「障害のある子を持つ親が知っておきたいお金の知識」

講師 佐藤加根子先生

2019年6月29日(土) 午後2時～4時

秋田県社会福祉会館 2F 展示ホール

参加費：無料

申し込み：秋田市社会福祉協議会 018-863-1290

今回の「親なきあと講座」は、横浜在住のファイナンシャルプランナーであり、佐藤加根子氏を講師としてお招きし「障害のある子の親が今知っておきたいお金の話」と題する講演会を秋田市の秋田県社会福祉会館で令和元年6月29日（土）に開催いたしました。

講師の佐藤氏は発達障害の20代の息子さんがおられる方で、我々育成会の会員の身になってお話をしてください、大変わかりやすい講演でした。お話は、障がいのある子がいる家庭ではライフプランニングをすることが望ましいということから始まりました。

内容は、①ライフプランニングについて（知識編と実践編）…①ライフプランニングとは何か、②日本の現状とライフプランニングの必要性、③自分と家族（障がい者を含む）の未来予想図を作ってみましょ

う。

（2）将来へ向けてのお金の貯め方、守り方…①利率・時間・分散について理解する

②使う時期と目的でお金を入れるポケット（資産の持ち方…大まかに保険・証券・不動産・預金があります）を使い分けましょう。

（3）「親なきあと」安心して暮らす制度の理解…①成年後見制度にも落とし穴があること、②各種信託制度を利用した「想いのプログラム化」、③信託制度の利用について。

（4）まとめとして「人生100年時代を生きるには」。以上の内容でした。

参加者は84名で、今まで家族の未来予想図作成やライフプランニングをしたことがない人が多く、実習で実際にライフプランニングを試みたことは有益だったという感想が多くありました。

話の端々に役に立つ情報が多く、「物価はどんどん上がるが、お金の価値は下がっていく」「預金の名義を障がいのある本人にしないほうがいい」「機会を見て将来のことを家族で話し合っておきましょう」など、障がい者のいる家庭に役立つ情報をいただきました。講演後のアンケートの集計では「大変良かった」あるいは「よかった」の割合が9割以上で、大変好評な講演でした。

秋田県障害者への理解の促進及び差別の解消の推進に関する条例

令和元年10月1日 全面施行

不当な差別的取扱いの禁止

合理的配慮の提供

秋田県

秋田県では障がいを理由とする差別を解消し、障がい者も障がいのない者も分け隔てられることなく相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現を目指しています。

障がいを理由に差別を受けた、どのように配慮をすればよいかわからないなど、困ったときは相談員が相談に応じます。

専用電話 018-863-1290

保管容器

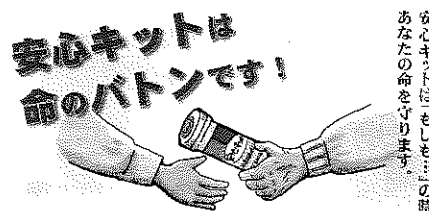


医療情報や緊急連絡先などを記入した用紙（安心カード）を専用の容器に入れ、冷蔵庫の中に保管します。ステッカーはマグネット式とシール式の2枚がありマグネットは冷蔵庫、シールは玄関の内側へ貼っておくことで、救急隊が迅速に対応できます。

希望される方に無料配布しています。地区社会福祉協議会または地区担当民生委員などへご相談ください。秋田市社会福祉協議会 862-7445

ご存知ですか？ 【安心キット】

安心キットは、自宅で急に具合が悪くなるなど、万が一の時に医療情報や緊急連絡先をすぐわかるようにしておくことで、救急隊がその情報を確認し、迅速な対応をする際に活かすものです。



安心キットはご利用を希望するみなさんに無料でお配りしています！

○「安心キット」とは？【救急医療情報キット】

あなただけがわかる医療情報や緊急連絡先を、万が一の時に、救急隊が一目で確認できるようにしておくことで、救急隊が迅速な対応をすることができます。

あなただけがわかる医療情報や緊急連絡先を、万が一の時に、救急隊が一目で確認できるようにしておくことで、救急隊が迅速な対応をすることができます。

今回の講演会についての感想を数名の方にお聞きしました

◇ライフプランニングの大切さがよくわかりました。いつ、いくらぐらいお金が必要になるかをしっかり考えたいと思いました。子供のためには、自分の健康も大事なので、自分と家族の健康管理もしっかりしたいと思います。また、今あるお金のどのように管理・運用するかこれを機にいろいろ考えてみたいと思いました。

◇子供がまだ学生なので、ライフプランニングを考えたことがありませんでした。これから子供が独立（グループホーム）から子供が生きていくために必要なお金のことを考えることが今の私には途方もない金額でびっくりしました。

◇気づかない事がたくさんありました。例えば、今から子供が独立（グループホーム）まで、一度の受講ではわからないことが多かったのですが、このような会があったら受講してみたいと思いました。

◇今まではお金を貯めることしか考えていなかったが、もう少し勉強しないと…と思います。一度の受講ではわからないことが多かったのですが、このような会があったら受講してみたいと思いました。

◇講師の先生にも、自閉症の息子さんがいらっしゃるということで、時には母親の立場からの思いや言葉が聞かれ、とても温かい雰囲気を感じました。内容はすごく具体的で、今すぐにも確認できるライフプランニングのことも、一生涯にかかるお金の計算など、財産管理・財務はもう少し詳しくお聞きしたかったです。笑。中でも、障がいがある人の本人名義の預金は…というお話には目が点になりました。現実的に後々の手続きが大変になる…という事なのでしようが、少しでもこの子のために…と考えていた親にとってすごく考え直すべきお話でした。

◇障がいを持つ子供の親にとって、「一番気がかりなことは「自分たちがいなくなってしまうこと」子供の生活に要する金銭面についてです。今回の講演会はまさにそういった不安に答えてくれるものでした。歳をいって自分たちの生活の中で何を子供に残していかれるのか、効率的な手法を具体的に教えてくださいたいです。

会場での苦言の關係で前半はお話が聞きづらい部分もありましたが、今後のワークショップの考え方、貯蓄での留意点や後見人制度における取り組みのお話など、モヤモヤ・わからないと思っていた部分がいくらかスッキリしました。今後ともこういった講演会の実施をよろしく願っています。



講師：佐藤加根子先生

先進施設視察研修会

開催日：令和元年 7月11日(木)

視察先：社会福祉法人 秋田県身体障害者福祉協会

コミュニティライフサポート谷内佐渡ホーム

参加者 40名

コミュニティライフサポート 谷内佐渡ホーム
障害者グループホーム

定員
グループホーム：7名
ショートステイ：3名

建物設備
全館バリアフリー
エレベーター設備
スプリングラー設備

設備品
ベッド・洗面台・
チェスト・布団収納
テレビ(ショールーム)

連携施設
障害者支援施設秋田ワークセンター
秋田市下北字新館字新館134
TEL:018-831-8010 FAX:018-831-8009

社会福祉法人秋田県身体障害者福祉協会
コミュニティライフサポート谷内佐渡ホーム
秋田市広面字谷内佐渡100番1 TEL:018-827-7650 FAX:018-827-7651

今年度の先進地視察は、秋田市広面字谷内佐渡に、昨年開設の、コミュニティライフサポート谷内佐渡ホームを見学させていただきました。

こちらは、障がいのある方が将来も地域で安心して暮らすことができるようショートステイを併設したグループホームです。

連携施設である秋田ワークセンターから車で約5分の住宅街の一角にあり、近くには大学病院やコンビニ等があります。二階建て新築の建物はとても明るく、全館バリアフリーでエレベーターもあり、全個室でベッド・エアコン・洗面台・収納がついていました。

利用者の皆さんは、一般就労や就労継続支援の日常活動をしているそうです。バス停も近くていいな...と思われました。

施設の機能

- ① 共同生活援助(グループホーム)：7名(知5・身2)
- ② 短期入所(ショートステイ)：3名(知・身)
- ③ 体験の機会・場の提供(共同生活援助事業所での生活体験)
- ④ 緊急時の受け入れ・対応(平時の夜間・土日祝日の緊急時の受付・相談・受け入れ・関係機関との連絡)

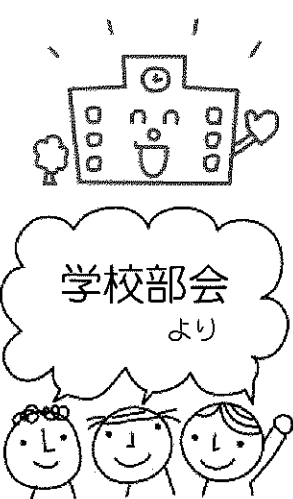
注目すべきは、④の緊急時の受け入れが可能なのことです。あらかじめ契約している方が(緊急時には契約は後日対応でも可)急に何かあって、障がいを持つた家族の預かり場を探す事態にも、常時3人分の受け入れ枠を確保し、対応してくれるという所です。これは障がい者のいる家族にとってすごく心強いサポートとなることでしょう。

体験入所もできるそうなので、見学・体験の申し込みも随時受け付けて下さるそうです。

今回見学したグループホームは「男性のみ」とのことです、参加者から女性のグループホームも見たい!との声も聞かれたため、すぐそばに新しくできた「なのはな」(柳田新生寮と連携)の見学も予定しました。

◇「なのはな」(広面字谷内佐渡136の1)
電話83417854

◇10月24日(木)10:30
*詳細は別紙をご覧ください



◇ 天王みどり学園 ◇



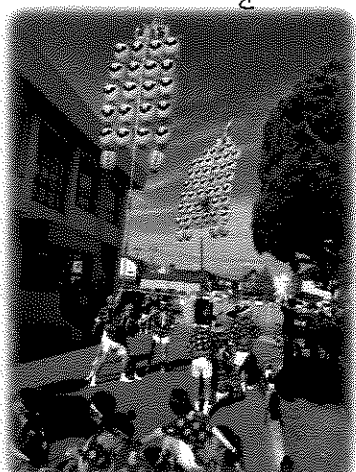
全校生徒による よっちょれ〜!

天王みどり学園では、7月27日に第12回目となる「みどりこ夏まつり」が開催されました。

全校児童による「よっちょれ」や地域の婦人会の皆さんとの「おぼこ踊り」など、暑いなか大変盛り上がった夏まつりでした。近隣の福祉施設や小中学校、高校生ボランティアの皆さんからもたくさんのご支援、ご協力をいただき、事故も無く、夏の楽しい思い出になったことと思います。来年も予定しておりますので、皆様どうぞお越しください。

◇ 秋田大学教育文化学部附属特別支援学校 ◇

本校の秋田竿燈まつりへの参加は、今年で35回目となります。郷土の伝統行事を通じ、附属幼稚園や聖園大使園、本校の夏まつりでの竿燈演技披露など、地域の方々の交流や仲間との絆を深める良い機会となっています。夏休み中も暑さに負けず、子供たちは本番に向け、心ひとつにして練習に励んでいます。当日、自信を持って演技を披露する子供たちの姿が、とても楽しみです。



そーれ!どっこいしょ〜どっこいしょ!

◇ 栗田支援学校 ◇

今年の栗田祭は11月2日(土)に開催されます。毎年、子供たちの熱演にさわやかな感動を頂いております。高等3部年の息子の事となりますが今年で学校生活最後の学祭となりました。編み物の演技で本気でこけた迷演技、人生初めて女子と抱き合うシーンでの幸せそうな顔、インフルインザ明けの根性のお芝居等々、先生方の熱意ある御指導も相まって鮮やかな思い出となって蘇ります。きつと全校の児童、生徒、その家族は同じく想いでこの素晴らしい栗田祭の時間を過ごす事でしょう。ぜひ、皆様にもお越し頂き子供たちの熱演をご観覧頂ければと思います。

思い出のスナップ
高等部3年・
加藤陽平くん



がんばった運動会

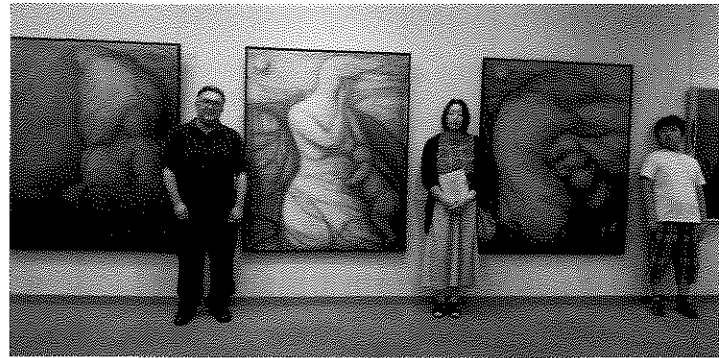


修学旅行で、いい男

芸術家さん



副会長の小林顕さんの油彩3点が、東京の国立新美術館で10月に開催される自由美術展(10月2日~14日)で昨年の新人賞受賞者ということで特別展示されます。



3点は向かって左から「この地球で」「天と地の間で」「大空へ」と題されています。知的障がいの子供さんと母親の深い絆を表現した大作3点です。写真はその3点の油絵と栄介君と小林さんご夫妻です。

秋田市のグループホームを調べてみました (障がい者のためのくらしのしおりより) - 詳細は各施設にお問い合わせ下さい -

知的障がい者グループホーム(介護サービス包括型)		
名称	所在地(番地省略)	定員
1 さくら	広面字小沼古川端	6
2 みのり	広面字小沼古川端	6
3 結	広面字小沼古川端	6
4 あおぞら	広面字小沼古川端	6
5 こまち	仁井田二ツ屋2丁目	6
6 雪やなぎ	柳沢字佐渡端	5
7 ほっと	上新城小又	5
8 ずっと	山内字上台	16
9 竹飛歩	桜2丁目	7
10 にぎやか倶楽部	横森2丁目	6
11 風和里(ふわり)	山内字田中	5
12 あいしんホーム	土崎港中央5丁目	6
13 あいしんホーム みなと	土崎港北1丁目	5
14 あいしんホーム あおやま	將軍野青山町	5
15 コミュニティサポート谷内佐渡ホーム	広面字谷内佐渡	7

知的障がい者グループホーム(外部サービス利用型)

名称	所在地(番地省略)	定員
1 ささこやま	広面字大巻	5
2 なのはな	広面字谷内佐渡	5
3 花つぼみ	土崎港相染町字大谷地	6
4 絆(きずな)	土崎港相染町字沖谷地	10
5 白樺	中通1丁目	7
6 まちなか(401・402・502)	山王4丁目	7
7 まちなか2	広面字塚敷	4
8 グループホーム太郎・花子	旭川清澄町	20
9 福寿草(男性のみ)	飯島字堀川	6
10 かすみ草(女性のみ)	飯島字堀川	6
11 すずらん	飯島字堀川	17
12 トマト荘(A・B)	土崎港中央7丁目	20
13 杉翠荘(さんすいそう)	土崎港中央6丁目	12
14 第2杉翠荘	土崎港東2丁目	6
15 あやめ荘	牛島西1丁目	6
16 さくら荘	茨島4丁目	6
17 鶴	土崎港中央4丁目	7
18 にんじん	下新城中野字琵琶沼	7
19 じゃがいも	下新城中野字琵琶沼	7
20 なすび荘	下新城中野字琵琶沼	7
21 雀(1F浮き雲、2F青空)	下新城中野字琵琶沼	14



お知らせ



第5回記念 秋田市市民公開講座 秋田市知的障がい児者サポーター講座 (秋田市助成事業)

11月 16日(土) 14:00~17:00
秋田市老人福祉センター
3F 大会議室

講師: 小島幸子先生
(全国手をつなぐ育成会連合会副会長
栃木県手をつなぐ育成会会長)

花笠ホープ隊(山形県:代表:古澤薫先生)

手をつなぐ育成会

第59回 東北ブロック大会

10月 6日(土)
岩手県盛岡市

第6回 育成会連合会全国大会

11月 23・24日(土・日)
熊本県熊本市



りんご狩りのお知らせ



11月 3日(土) 予定しています

爽やかな秋の一日
みんなでりんご狩りしたあと、
お弁当を食べましょう♪
遠足気分に参加してみませんか～

◇参加費 お一人様 500円
(バス代・りんご代・お弁当代込)

秋田県障がい者スポーツ大会

令和 元年 8月～

秋田県障がい者福祉展

秋田県・県障がい者社会参加推進センター主催

「心いきいき芸術・文化祭」

令和 元年 11月22日(金)～23日(土)

秋田拠点センターアルヴェにて

*今年には育成会としてバザーには参加いたしません
がステージ発表や、作品展示もにぎやかですので、
皆様、是非足をお運びください

令和 2年 新年親睦会(成人式)



1月26日(日)に予定しています
協働社大町ビル 会費:4000円
(本人参加:2000円)

新成人の方の情報ありましたら、
どうかお知らせ下さい。
皆でお祝いしながら親睦を深めましょう

印刷/社会福祉法人 緑光福祉会
就労継続支援B型 緑光苑



名刺・伝票・封筒・チラシ・ポスター・冊子…
その他、印刷全般承ります
～年賀状の印刷もやっています～

編 集 後 記

新元号も決まり、令和時代が始まりました。
来年には、東京オリンピックも開催されるワクワクするよ
うな今年の夏もまた暑い暑い日が続きましたね。
秋田市でもお盆直前には、深夜から早朝にかけてのものす
ごい豪雨と雷鳴…本当に驚かされました。
また首都圏には、台風15号の直撃…長期間の停電を余儀
なくされた被災地の方々の心労はいかほどだろうか…と胸
が痛くなります。
こうした災害時には、いわゆる災害弱者と呼ばれる要支
援・要配慮者はどうなってしまうだろうか…?考えると
不安になってしまいます。



秋田市では災害時に避難生活の長期化が予想さ
れ、指定避難所での生活に困難が生じた場合、
速やかに福祉避難所を開設するそうです。
その場合も、まずは指定避難所に向かって下さ
い。(受け入れの決定は市の方で行います。)
緊急持ち出し袋や、非常食、指定避難所の確認
も大切ですね。。
とても考えさせられた夏でした。

(広報部)